

平成 30 年度 上 半 期 指 定 管 理 者 管 理 運 営 状 況 シ ー ト

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	15,512,000円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		H30上半期	H29下半期	H29上半期	H28下半期	H28上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	11,707	15,021	17,499	16,103	18,013
	移動児童館利用者数	860	1,033	1,021	670	974
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	16	21	20	14	19
	開館日数(単位:日)	151	151	157	151	157

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者 サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施 ②所長(正規職員)、正規職員1人、非常勤職員4人の合計6人配置(保育資格、児童厚生員資格は所長を含め3人、教諭資格は2人) ③児童センターのお知らせ「はみんぐ」は、乳幼児用と児童用の2部を毎月発行・配布(加納西校区自治会回覧、5つの小学校・霊学校・1つの中学校・幼稚園・保育園・認定こども園、公民館・南部コミュニティセンター・南市民健康センター)、児童センター内掲示、法人のホームページに掲載。毎月の行事報告(コメント入り写真)は児童センター内掲示や、法人のホームページに掲載。特に7月から9月にかけて、酷暑による高温注意報が発令されたため水遊びを中止にしたり、台風接近による臨時休館の際には、速やかに本部広報課によりホームページによって利用者に周知した。 ④常時、ご意見箱を設置するとともに、利用者には、手配りアンケートを実施し、問題の解決に努めた。また、来館・退館時に声をかけ話しやすい雰囲気づくりを心掛けた。 アンケート結果は児童センターの廊下に掲示。
自主事業・ 提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施 ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施 ②日常清掃を遂行。玩具については定期的な消毒を実施し毎日の片付け時に破損等の点検を実施。週2回は、就労促進事業清掃班による清掃。 ③普段から省エネ(使用していない部屋の消灯、エアコンの適正室温の設定による節電)に努め、牛乳パックなどの廃材を利用して工作をすることで経費の縮減に努めた。 ④専門業者による遊具点検 年2回(室内の平均台などの点検や戸外の鉄棒などの安全維持管理)行っている。 玩具の破損は、おもちゃ病院ぎふに修理依頼。少しの施設修理等は指定管理者(本部)または、法人統括事業所長に修理依頼して施設の維持管理に努めた。 施設警備業務については、機械業務(毎夜PM6:00～翌日AM9:30・休館日AM9:30～翌日9:30)
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速・適切な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が修繕を実施。 ②大規模な修繕については指定管理者(本部)及び岐阜市に要望を提出。
危機管理・ 法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施。また、法人内の接遇や個人情報の保護の研修に参加し、伝達講習を行い職員の認識強化を図った。 ヒヤリハット記入を強化し周知することで事前の事故や苦情の防止に努めた。 毎月、避難訓練を実施。幼児クラブの中や児童の時などに行った。訓練は職員のためにも必要と思い行っている。法人内において監査指導を受けた。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>【保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート】 平成30年6月15日～6月28日 保護者(一般来館・クラブ参加)の123人にアンケート(無記名)を実施。 回答者数123人(100%) 【小・中・高校生用アンケート】 平成30年6月16日～6月29日 来館した児童・生徒にアンケート(無記名)を実施。 回答者93人(小学:1年15人、2年10人、3年7人、4年16人、5年10人、6年27人、中学生8人)</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>〈保護者用(一般来館・クラブ参加)アンケート〉 【校区】 三里(22%) 加納西(19%) 加納(12%) 厚見(8%) 茜部(8%) 本荘(7%) 市橋(3%) 市外(3%) 鏡島(2%) 木之本(2%) 徹明(2%) 華陽(2%) 白山(2%) その他(8%) 【性別】 男(1%) 女(99%) 【年齢】 10代(0%) 20代(16%) 30代(74%) 40代(9%) 50代以上(1%) 【利用頻度】 初めて(6%) ほぼ毎日(2%) 週2～3回(11%) 週1回(28%) 2週間に1回(43%) 月1回(9%) その他(1%) 【来館相手】 子・孫(91%) 友人(9%) その他(0%) 【来館方法】 徒歩(24%) 自転車(9%) 自家用車(65%) その他(2%) 【何で知った】 ホームページ(53%) 広報紙・チラシ(8%) 学校(0%) 保育所・幼稚園(0%) 知人・友人(33%) その他(8%) 【評価】 (あいさつ)……満足(84%)、ほぼ満足(14%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (言葉づかい)……満足(85%)、ほぼ満足(13%)、普通(2%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用者対応)……満足(81%)、ほぼ満足(14%)、普通(5%)、やや不満(0%)、不満(0%) (利用しやすさ)……満足(47%)、ほぼ満足(33%)、普通(15%)、やや不満(4%)、不満(1%) (整理整頓)……満足(61%)、ほぼ満足(24%)、普通(14%)、やや不満(1%)、不満(0%) (清潔感)……満足(55%)、ほぼ満足(24%)、普通(19%)、やや不満(2%)、不満(0%) (換気)……満足(48%)、ほぼ満足(24%)、普通(27%)、やや不満(1%)、不満(0%)</p> <p>〈小・中・高校生用アンケート〉 【性別】 男(39%) 女(61%) 【学校名】 加納西(69%) 三里(13%) 中学生(9%) 加納(4%) 附属(3%) 市外(2%) 【学年】 小学:1年(16%)、2年(11%)、3年(7%)、4年(17%)、5年(11%)、6年(29%) 中学生(9%) 【利用頻度】 初めて(3%)、毎日(1%)、週4・5回(8%)、週2・3回(38%)、週1回(32%)、その他(18%) 【来館相手】 ひとり(16%)、友人(59%)、父母(13%)、親戚(3%)、その他(9%) 【来館方法】 徒歩(31%)、自転車(48%)、自家用車(21%)、その他(0%) 【好きな遊び】 ドッジボール(30%)、カラム(16%)、卓球(15%)、ボードゲーム(10%)、カードゲーム(10%)、オセロ(8%)、その他(11%)</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>要望⇒回答 駐車場が少ない⇒児童センターは、民間の方から10台の車を止める駐車場をお借りしています。幼児クラブが始まる前、終わった後に職員が駐車場に立って車の出し入れを誘導しています。皆様にはご迷惑をおかけしています。他に、加納西認定こども園の駐車場をお借りしています。児童センターからは遠いですが、最初から保育園に止める方もみえます。わからないことは職員に聞いてください。 運動クラブの定員を増やしてほしい。 ⇒現在、運動クラブの定員は30人です。遊戯室で走ったり思いっきり体を動かし遊びますので、人数が増えると、ぶつかったりして危険を伴います。定員は増やせませんのでご理解ください。 クラブに違いをもたせてほしい。 ⇒今年から、年齢を半年単位にしました。ひよこクラブは1歳から1歳半、ぱんだクラブは1歳半から2歳うさぎクラブ、くまクラブは2歳から就園までに分けてクラブを行っています。職員は成長段階を見ながら親子体操や工作などを行っています。年齢が近いと重なる部分がありますのでご理解ください。 親の私語が多い。 ⇒お母さん同士がお友達を作るのはとても嬉しいことですが、クラブ中は私語を慎み、子どもさんと一緒の目線に立って頂き、いっぱいふれあってください。子どもさんから目を離さないようにご協力ください。 お祭りを増やしてほしい。⇒子ども運営委員会で話し合っていて考えていきます。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	①平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		②情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な情報提供・広報活動の実施	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	③既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		④利用者ニーズ、苦情などの把握方法、対応方策及びサービスの質を確保するための体制	・利用者アンケートの実施 ・利用者ニーズ・苦情・クレームへの着実な対応・運営への反映	A	A	A
		⑤利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)		(A)	(A)	(A)
		⑥利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	B	C	C
		⑦施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	⑧指定管理経費の妥当性	・収支計画の妥当性及び適正な予算執行	A	A	A
		⑨管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	⑩組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		⑪スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		⑫スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		⑬リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
区分評価			A			
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	⑭地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		⑮地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組みに対する評価</p>	<p>1、児童健全育成 ○運営委員会で委員の方から沢山の意見を頂いた。今年の夏休みの行事は、意見を反映するような内容を多く取り入れ実施した。 ①岐阜市の出前講座と岐阜県壘学校の先生に、初めて講座を依頼した。児童センターに専門分野の先生が来館して指導して下さることによって、保護者や子どもに大変好評であった。特に、子ども達は長い夏休みの期間中におもしろい遊びを体験でき、いい思い出になって良かったとの感想があった。 ・エールぎふ「親子で一緒に遊ぼう」 対象:未就園児と保護者 ・科学館「おもしろ科学教室」 対象:小、中学生 ・国際課「岐阜市の国際交流」 対象:小、中学生 ・岐阜県立岐阜壘学校「手話講座」 対象:小、中学生 ◎出前講座で国際交流として、アメリカの方、中国の方が来てくださった。最初、子ども達は行事に入らなかったが、中国の遊びを行った時に中学生も入って異年齢児で楽しそうに遊んでいる姿を見た。職員が中国の話をするのではなく、子ども達に本場の遊びに触れ楽しさを感じさせてあげることがとても良いことだと改めて実感した。今後も出前講座を行事に取り入れ、いろいろ体験して感動を味わってほしい。 今後、子ども達の生き生きとした笑顔が見れる場所、そんな児童センターでありたいと願っている。 ②児童センターで手話講座をする前に 職員が壘学校の手話講座(壘学校が主催)を受講し、指文字や挨拶を体験して他の職員に伝達講習を行った。指文字の一覧をコピーして児童の部屋に掲示し声掛けを行った。 ③子ども運営委員会は今年もお化け屋敷を計画し開催した。お化け役に募集した子どもは16人いた。驚ろかす方が面白いと中学生も一緒に浴衣を着たり、長い髪の毛を顔の前に垂らして、お化け役でボランティアをしてくれた。お化け屋敷の入場数は99人であった。次回もまた、お化け役になりたいと言う声があった。 2、子育て事業 ○8月から、児童センターだより「はみんぐ」を、南市民健康センターにも配布することになった。児童センターを利用している保護者からの要望で決定した。子育てのすべての方に寄り添っていけるように心がけている。 ○7月～9月にかけて、酷暑のために高温注意報が発令されて児童センターの行事である「水遊び」が中止になったり、台風の影響で強風注意報や警報が発令されて臨時休館になった時は、利用者の安全を考えて、素早く本部の広報部がホームページに掲載した点良かった。 ○幼児の夏祭りを行った。母親クラブの役員が中心になって、ヨーヨー風船やかき氷など親子で楽しんだ。暑かったこともあり、初めて防火衣体験の場所を遊戯室で行った。消防車に乗るよりも遊戯室での防火衣体験(幼児用)の方が人気があった。親子で写真を撮って楽しんでた。参加人数は、親子で190人であった。 ○母親クラブ主催で、「音楽を楽しもう」を開催した。エレクトーン演奏の先生達は、対象が幼児ということもあり、アンパンマンの曲などを演奏され、親子で楽しめることが良かった。</p>
<p>前回までの意見を踏まえた取組み状況</p>	<p>○昨年のアンケートで1歳クラブの保護者から、1クラブしかないのでは待機がたくさんいる。2クラブにしてほしいとの意見があった。今期から、0歳児を1クラスにして1歳児クラブを名前も変えて2クラブにした。(ひよこクラブ 1歳～1歳半・ぼんたクラブ 1歳半～2歳)半年たって、今回のアンケートに0歳児クラブを2クラブにしてほしいという意見が出た。職員の数や、施設状況を見ると課題が残る。アンケートの意見や利用者の声をどのように、児童センターに合わせていけるかが今回の課題である。 ○幼児クラブの後に、時間を決めて、ランチタイム(11:45～12:45)を設定している。利用者には好評である。(決まった時間に食事をすることが大切。帰りの車で寝ても安心。ピクニック気分食欲が進むなど) ○前回、今後の取組みで、リスク管理の学習会を予定していたが、計画できなかったため、全職員が10月中に救命講習Ⅲを受講する。(講習場所:岐阜市消防本部本巢消防署) ○5月にバランスボールを親子で体験したが、保護者から、再度、体験の要望があり問い合わせがあったので、来月の行事(11月)に計画した。</p>
<p>今後の取組み</p>	<p>○夏に開催した出前講座(エールぎふ・国際交流会・おもしろ科学教室など)を再度、児童センターの行事に取り入れたい。(長期の休み以外でも、子ども達の様子を見て取り組みたい) ○運動遊びクラブは待機している人が多いので、次回の申込み(登録時)には、2グループ(30名×2)集集し、より多くの人達に参加してもらいたい。</p>

●所管課の意見

<p>○毎月の児童センターだより「はみんぐ」を乳幼児用・児童用に分けて作成し、担当地区の小・中学校、幼稚園、保育園、公民館、コミセン、ドリームシアターぎふ等に配布したほか、今期より南市民健康センターへも新たに配布、ホームページにも掲載するなど広く児童館の活動をPRした。 ○市の出前講座や壘学校に講座を依頼し、国際交流や手話講座等の子どもたちが普段経験できないことが体験できる場を提供した。 ○移動児童館について、上半期16回開催し、年間目標数値の24回(平均月2回)に向け順調に実施されており、下半期も引き続き実施していただきたい。 ○事業の講師を地域の高齢者をお願いすることで、児童と高齢者が触れ合うよい機会となり、高齢者の生きがいにつながっている。 ○大雨や大型台風が相次いだが、適切な休館措置により利用者の安全を最優先とした施設運営を行った。また、連日の猛暑においても利用者が熱中症に罹ることもなく運営できたことを評価したい。 ○職員体制や経営状況についても問題なく運営されている。</p>
--

●指定管理者評価委員会の意見

<p>●リスク管理の学習会は計画できなかったものの、前回までの意見を踏まえた取組みがなされていることを評価する。 ●国際交流の出前講座や手話講座など新規事業を実施していることを評価したい。今後はそれが利用者促進につながるよう、さらなる工夫を求めたい。 ●管理運営は適正に行われており、良好と認められる。</p>
